

《南砺市教育方針》 ふるさとを誇りに思い、未来を切り拓く なんとっ子

～12年間を見通した教育の実現を目指して～

令和7年度 井波小学校学校運営について

《学校教育目標》

未来を拓く 井波っ子

助け合う子

考える子

やりぬく子

《重点目標》

挑戦 - 何度でも -

自分のことが好き
自分に素直

仲間を大切にで
きる
相手に素直

子供

何度でも挑
戦し続ける
前に進もう
とする

取組の過程
を認め、自分の
成長に気づき、
自信にできる

仲間との
関わり方の
経験を積む

自分と異なる
考え方や行動を
したとしても持
ち味として受け
止める

アクションプラン 指標 90%

相手を見てあいさつを
する

自分の考えを伝える

自分の目当てをもつ

《運営方針》

目指す教職員の姿

- ・子供と共に成長し続ける教職員
- ・子供と共に1年後のゴールを明確にもち、子供の可能性を信じ、全力で支える教職員

* 一年勝負

ふるさと

家庭

子供

家庭・地域との連携

- ・地域の財産である「人・もの・こと」に学ぶ機会を積極的に設ける
- ・相談や要望に誠意をもって対応する
- ・教育活動に関わる情報を発信する

保・小・中学校との連携

- ・子供の12年間の成長を見通し、情報を共有する

学校評議員会からの評価

- ・学校の教育活動について、公開の機会を設けるとともに、助言をいただく

令和7年度 重点目標及びアクションプラン

学校 目標教育	未来を拓く 井波っ子		
	徳	知	体
	助け合う子	考える子	やりぬく子
目標点	挑戦 - 何度でも -		
アクションプラン	相手を見てあいさつをする	自分の考えを伝える	自分の目当てをもつ
子供の具体的な姿	・ いろいろな場面で相手を見てあいさつをする ＜あいさつ言葉の例＞ おはようございます、さようなら、ありがとう、ごめんなさい、お願いします、元気？ どうしたの？ 大丈夫？	・ 自分の考えを話したり、書いてりして伝えることができる。	・ 自分の状況（昨年度やこれまでの取組）を見つめ、目当てをもつ。 ・ 目当てに向かって、取組を見直しながら、挑戦し続ける。 ・ 取組や目当てを振り返り、価値付ける。
指数目標値	90%	90%	90%
具体的方策	・ 自分から挨拶をする友達の姿やどこがよかったかを紹介、称賛する。 ・ 道徳をはじめとして＜あいさつ言葉＞を使って自分の気持ちを伝えることの大切さや相手のことを考えて＜あいさつ言葉＞を使うことの意味やどのような態度で＜あいさつ言葉＞を使ったらいいのかを教員自身が伝えたり、子供が考えたりする機会を繰り返しもつ。 ・ 繰り返し＜あいさつ言葉＞の例を確認することで、まだ使っていない言葉を意識し、TPOに応じて＜あいさつ言葉＞を使うことができるようにする。	○ 学級活動において、自分の考えを伝える場を設定する。 ＜例＞ ・ 学級会ノート（ワークシート）に議題に対する自分の考えを書いて、先生や司会グループに伝える。 ・ 自分の気持ちを話すことが難しい場合は、ペアやグループ等、場の設定を工夫したり、意図的指名したりする。 ・ 学級会では、ネームプレート等を使って、自分の立場を明らかにする。	○ 共通の取組内容 1 学期は運動会・新体力テスト 2 学期は持久走大会 3 学期は運動課題に応じた委員会活動 ○ 自分にとって適切な目標を設定する場を設ける。 ○ カード等をチャレンジファイルに綴じて次年度や次の取組で生かすことができるようにする。
子供の評価の言葉	相手を見てあいさつをすることができたか。 A：よくできた B：できた C：あまりできなかった D：できなかった	自分の考えを伝えることができたか。 A：よくできた B：だいたいできた C：あまりできなかった D：できなかった	運動や健康について自分の目当てをもち取り組んだか。 A：目当てをもって取り組めた。 B：目当てをもって、だいたい取り組めた。 C：目当てをもったが、あまり取り組めなかった。 D：目当てをもったが、取り組めなかった。
評価の方法・時期	○ 学期始めに目指す姿を子供たちと共通理解して取り組む。	○ 年度始めに目指す姿の具体的な姿を子供たちと共通理解して取り組む。 ○ 2学期以降は、前学期までの取組を振り返り、変容を自覚できるようにする。	○ 学期の始め又は、取組の最初に目指す姿を子供たちと共通理解して取り組む。
	○ 毎学期末に振り返りの場を設け、評価する。	○ 6月、11月、2月頃に振り返りの場を設け、評価する。	○ 学期末又は、取組の終わりに振り返りの場を設け、評価する。